

## 【 企業動向調査（製造業）概況 】

2023年10月～12月期の企業動向調査（市内製造業96社）を行った結果、業況判断指数D Iの平均は▲1.8ポイントとなりました。

前期調査結果（2023年7月～9月期：▲34.9ポイント）と比較して33.1ポイント好転しました。その他経営上の問題については、「2024年度問題で輸送コストが上昇する見込みだが、これ以上販売価格に転嫁できない。」「電気代等のエネルギー費用や社会保険料の引き上げ。一企業ではどうにもコントロールできない。」などの意見がありました。

1. 今期調査結果は、「食品」はプラスポイント、「金属」は0ポイント、「一般機械」、「電気機械」、「木材家具」、「その他業種」はマイナスポイントとなりました。

### 業種別の業況判断前期比D I

食品	60.0	（前期比：プラス	17.1）
金属	0.0	（前期比：プラス	35.8）
一般機械	▲30.8	（前期比：プラス	23.0）
電気機械	▲11.1	（前期比：プラス	77.8）
木材家具	▲16.6	（前期比：プラス	23.4）
その他業種	22.2	（前期比：プラス	42.2）

2. 次期予想D I（2024年1月～3月）

次期予想の平均は▲23.7ポイントで、今期調査結果の平均(▲1.8)より、21.9ポイント下回る予想となりました。

### 業種別の次期予想D I

食品	▲20.0	（今期比：マイナス	80.0）
金属	▲23.1	（今期比：マイナス	23.1）
一般機械	▲38.4	（今期比：マイナス	7.6）
電気機械	0.0	（今期比：プラス	11.1）
木材家具	0.0	（今期比：プラス	16.6）
その他業種	▲44.5	（今期比：マイナス	66.7）

3. 経営上の主な問題点

「原材料・仕入品単価の上昇」が56.4%、「受注の減少」が52.7%、「人材不足（技術者等質的なもの）」が45.5%、「労働力不足（量的なもの）」が27.3%、「納期の短縮」が16.4%、「同業他社との競争激化」が14.5%、「技術力の不足」が9.1%、「製品販売価格の低下」が7.3%、「為替相場の変動」が5.5%、「金融難」が3.6%、「人員過剰」が1.8%、「取引先の海外シフト化」が0.0%となっております。

# 企業動向調査

## 【2023年10月～12月期 <4期>】

### 【調査概要】

須坂市産業振興部産業連携開発課では、市内製造業の景気動向を探る手段として、年4回市内企業を対象にアンケート調査を実施しており、今回は2023年10月～12月期<4期>の業況について調査した。

### 【調査実施要領】

実施時期 2024年3月

対象企業 須坂市内または事業所を有する製造業企業 96社

回答企業数 55社（回答率 57.2%）

### 【調査結果】

自社業況判断（D I = 好転 - 悪化）

前期比：「好転」18.2%（前回11.1%）、「悪化」20.0%（前回46.0%）という割合でD Iは▲1.8となり、33.1ポイント好転した。

前年同期比：「好転」16.4%（前回15.9%）、「悪化」38.2%（前回52.4%）という割合でD Iは▲21.8となり、14.7ポイント好転した。

次期予想：「好転」14.5%、「悪化」38.2%という割合でD Iは▲23.7（前回▲19.0）となり、前期より若干の悪化を予想している。

受注引合（D I = 増加 - 減少）

前期比：「増加」20.0%（前回15.9%）、「減少」23.6%（前回49.2%）という割合でD Iは▲3.6となり、29.7ポイント増加した。

前年同期比：「増加」16.4%（前回19.0%）、「減少」36.4%（前回52.4%）という割合でD Iは▲20.0となり、13.4ポイント増加した。

次期予想：「増加」16.4%、「減少」40.0%という割合でD Iは▲23.6（前回▲15.8）となり前期より減少を予想している。

生産量（D I = 増加 - 減少）

前期比：「増加」18.2%（前回11.1%）、「減少」27.3%（前回50.8%）という割合でD Iは▲9.1となり、30.6ポイント増加した。

前年同期比：「増加」14.5%（前回14.3%）、「減少」38.2%（前回55.6%）という割合でD Iは▲23.7となり、17.6ポイント増加した。

次期予想：「増加」14.5%、「減少」38.2%という割合でD Iは▲23.7（前回▲17.4）となり、前期より減少を予想している。

#### 原材料・仕入品単価 (D I = 低下－上昇)

前期比：「低下」0.0% (前回0.0%)、「上昇」29.6% (前回41.0%) という割合でD Iは▲29.6となり、11.4ポイント低下した。

前年同期比：「低下」1.9% (前回3.3%)、「上昇」63.0% (前回62.3%) という割合でD Iは▲61.1となり、2.1ポイント上昇した。

次期予想：「低下」0.0%、「上昇」34.0%という割合でD Iは▲34.0 (前回▲27.9)となり、前期より原材料・仕入単価の上昇を予想している。

#### 製品販売価格 (D I = 上昇－低下)

前期比：「上昇」13.0% (前回17.7%)、「低下」1.9% (前回4.8%) という割合でD Iは11.1となり、1.8ポイント低下した。

前年同期比：「上昇」33.3% (前回38.7%)、「低下」5.6% (前回3.2%) という割合でD Iは27.7となり、7.8ポイント低下した。

次期予想：「上昇」15.1%、「低下」7.5%という割合でD Iは7.6 (前回8.1)となり、前期より製品販売価格の若干の低下を予想している。

#### 資金繰り (D I = 好転－悪化)

前期比：「好転」5.5% (前回7.9%)、「悪化」18.2% (前回27.0%) という割合でD Iは▲12.7となり、6.4ポイント好転した。

前年同期比：「好転」12.7% (前回7.9%)、「悪化」23.6% (前回31.7%) という割合でD Iは▲10.9となり、12.9ポイント好転した。

次期予想：「好転」5.7%、「悪化」26.4%という割合でD Iは▲20.7 (前回▲17.4)となり、前期より資金繰りの若干の悪化を予想している。

#### 所定外労働時間 (D I = 増加－減少)

前期比：「増加」11.1% (前回11.1%)、「減少」20.4% (前回28.6%) という割合でD Iは▲9.3となり、8.2ポイント増加した。

前年同期比：「増加」9.1% (前回11.3%)、「減少」25.5% (前回30.6%) という割合でD Iは▲16.4となり2.9ポイント増加した。

次期予想：「増加」9.1%、「減少」18.2%という割合でD Iは▲9.1 (前回▲3.2)となり前期より労働時間の減少を予想している。

#### 収益率 (D I = 上昇－低下)

前期比：「上昇」9.1% (前回9.5%)、「低下」29.1% (前回38.1%) という割合でD Iは▲20.0となり、8.6ポイント上昇した。

前年同期比：「上昇」10.9% (前回11.1%)、「低下」34.5% (前回47.6%) という割合でD Iは▲23.6となり、12.9ポイント上昇した。

次期予想：「上昇」9.1%、「低下」23.6%という割合でD Iは▲14.5 (前回▲20.6)となり、前期より収益率の若干の上昇を予想している。

## 経営上の問題点（複数回答）

1位	原材料・仕入品単価の上昇	(→ 56.4%)
2位	受注の減少	(→ 52.7%)
3位	人材不足（技術者等質的なもの）	(→ 45.5%)
4位	労働力不足（量的なもの）	(→ 27.3%)
5位	納期の短縮	(↑ 16.4%)
6位	同業他社との競争激化	(↓ 14.5%)
7位	技術力の不足	(↓ 9.1%)
8位	製品販売価格の低下	(→ 7.3%)
9位	為替相場の変動	(→ 5.5%)
10位	金融難	(→ 3.6%)
11位	人員過剰	(→ 1.8%)
12位	取引先の海外シフト化	(→ 0.0%)

※ 「↑」 前回の順位から上昇 「→」 前回の順位から変動なし  
「↓」 前回の順位から下降

## 業種別自社業況判断／食品

前期比：「好転」60.0%（前回42.9%）、「悪化」0.0%（前回0.0%）という割合で  
DIは60.0となり、17.1ポイント好転した。

前年同期比：「好転」60.0%（前回57.1%）、「悪化」20.0%（前回14.3%）という割合で  
DIは40.0となり、2.8ポイント悪化した。

次期予想：「好転」0.0%、「悪化」20.0%という割合でDIは▲20.0（前回0.0）となり  
前期より悪化を予想している。

## 業種別自社業況判断／金属機械

前期比：「好転」15.4%（前回7.1%）、「悪化」15.4%（前回42.9%）という割合で  
DIは0.0となり35.8ポイント好転した。

前年同期比：「好転」0.0%（前回7.1%）、「悪化」46.2%（前回57.1%）という割合で  
DIは▲46.2となり、3.8ポイント好転した。

次期予想：「好転」15.4%、「悪化」38.5%という割合でDIは▲23.1（前回▲21.4）となり、  
前期より若干の悪化を予想している。

## 業種別自社業況判断／一般機械

前期比：「好転」0.0%（前回7.7%）、「悪化」30.8%（前回61.5%）という割合で  
DIは▲30.8となり、23.0ポイント好転した。

前年同期比：「好転」0.0%（前回7.7%）、「悪化」38.5%（前回53.8%）という割合で  
DIは▲38.5となり、7.6ポイント好転した。

次期予想：「好転」15.4%、「悪化」53.8%という割合でDIは▲38.4（前回▲53.8）となり  
前期より好転を予想している。

## 業種別自社業況判断／電気機械

前期比：「好転」11.1%（前回0.0%）、「悪化」22.2%（前回88.9%）という割合でDIは▲11.1となり、77.8ポイント好転した。

前年同期比：「好転」11.1%（前回11.1%）、「悪化」55.6%（前回77.8%）という割合でDIは▲44.5となり、22.2ポイント好転した。

次期予想：「好転」11.1%、「悪化」11.1%という割合でDIは0.0（前回▲11.1）となり前期より好転を予想している。

## 業種別自社業況判断／木材家具

前期比：「好転」16.7%（前回0.0%）、「悪化」33.3%（前回40.0%）という割合でDIは▲16.6となり、23.4ポイント好転した。

前年同期比：「好転」16.7%（前回0.0%）、「悪化」33.3%（前回60.0%）という割合でDIは▲16.6となり、43.4ポイント好転した。

次期予想：「好転」33.3%、「悪化」33.3%という割合でDIは0.0（前回▲20.0）となり、前期より好転を予想している。

Q10 日銀松本支店が12月13日に発表した、企業短期経済観測調査(短観)によると、全産業の業況判断指数(DI)は、前回調査(9月)からプラス3ポイントと2ポイント下回り、3期ぶりに悪化。製造業(DI)は、マイナス3ポイントと2ポイント下回り、3期ぶりの悪化。非製造業(DI)は、プラス10ポイントで2ポイント下回り2期ぶりの悪化となりました。自社の景況感をどのように感じておられますか。

A 「好転している」1.8%、「今はないが、今後好転が見込まれる」12.7%、「変わらない」38.2%、「今はないが、今後悪化が見込まれる」27.3%、「悪化している」20.0%。

Q11 物価上昇の影響により、様々な商品、原材料などの値上げが起きていますが、貴社では賃上げをする予定はありますか。

A 「大幅に上げる」3.6%、「例年並みに上げる」30.9%、「検討中」41.8%、「予定なし」20.0%、「無回答」3.6%。

Q12 その他経営上の問題についてご記入ください。

A 「電気、ガスの補助金が6月で終了すれば、製造経費の逼迫が危惧される。」、「新卒採用での売り手市場、若手、中堅クラスの転職意識が年々高まっており、人材の採用・定着・育成が継続した課題である。」、「原材料の高騰が続いているので、製品価格が見合わない状況になっています。」、「新卒採用の難航と入社後1年以内の退職率の上昇により、社員構成がいびつに

なりつつあることが重要な課題になりつつある。」、「人材育成の思い通りにいかない。」、「人員不足が否めない。また、賃金上昇分を原価に十分に反映できていない。今後を見据えて産業製品の販売単価を値上げする方向ではあるが、今後の売上額に影響があるか不安な部分はある。受注情報の早期収集に努める。」、「昨年夏より受注が全体的に減少している。原因は取引先により様々だが、取引先自体の受注が減っているためと思われる。県外業者が安値で仕事を取ってしまっても聞く。」、「大手は大幅な賃上げを打ち出しているが下請け(中小)へは回ってこない。下請けへ分配しているのはおかしいと思う。」、「本業は汎用プラスチック系業界のため上昇気配がない。昨年2%賃上げは利益圧迫しているため今期中小目標 3.8%の対応は難しい。材料高もきつい。更なる値上げは印象が悪すぎる。」、「電線などの建築資材の入手がかなり遅れています。今後の生産予定にかなりの悪影響が懸念され不安な毎日です。」等。







